

MTJAPAN 中期ビジョン

2024年1月

一般社団法人 日本医療機器テクノロジー協会

はじめに

日本医療機器テクノロジー協会（以下、MTJAPAN）は、2013年（平成25年）10月、前身である日本医療器材工業会から衣替えしました。当時、我々が扱う製品が、再生医療、ICT、ソフトウェア、システム等に至るまで大きな広がりを見せ始めていたことにより、従来の医療機器や医療材料に留まらず医療テクノロジーの振興を目指し、『安全でかつより革新的な医療機器テクノロジーを速やかに提供することにより、日本をはじめ世界の医療の質の向上と日本の医療機器テクノロジー産業の振興に貢献する。』ことをビジョンに掲げ新たなスタートを切りました。その後10年の時を経て、さらに我々を取り巻く環境は大きく変化しています。

この10年の変化で大きな起点となるのは、やはりCOVID-19のパンデミックではないでしょうか。これまで経験をしたことのない不安と恐怖が渦巻くなか、医療機器への期待と存在感の高まりをこれほど感じたことは無かったと思います。また、世界的なサプライチェーンの寸断により、医療機器の安定供給確保にもかつて経験したことのない苦難がありました。その後も、世界で巻き起こる紛争等により、原材料・部材の高騰にも悩まされ続けています。しかし、どのような状況であろうとも、我々は医療を止める訳にはいきません。製品・サービスを安定供給し続ける大きな使命を担っています。

一方、テクノロジーの世界では、COVID-19を契機に医療現場へDXの波が押し寄せています。デジタル化の遅れが指摘され続けてきた日本においても、プログラム医療機器の開発・実用化が加速し始めました。今後、より一層加速する少子高齢化のみならず、医師をはじめとする医療者不足も懸念されており、その解決手段としてタスクシフトとデジタル技術による医療の効率化・生産性向上が期待されています。これまで、ややもすると診断精度や治療効果を競ってきた我々医療機器メーカーも、診療の効率化や医療者の働き方改革に寄与するイノベーションにも積極的に取り組まなければなりません。

グローバル化は言わずもがなです。成長を続ける世界の医療機器市場に比べ、日本の市場成長率は力強さを欠いており、さらなる海外展開が避けられない状況にあります。この10年で会員企業の海外売上比率は20ポイント近く伸びましたが、まだまだ伸びしろがあります。成長産業として、国内市場だけでなくグローバルでの成長期待にも応えていく必要があります。

今や会員企業は300社を超え、MTJAPAN関連製品の売上額は約2兆円と医療機器市場の約半分を占めるに至っています。我々には、責任ある業界団体として、医療の質向上と産業振興に向けた積極的な政策提言ならびに、一層の組織力の強化、コンプライアンスの徹底が求められています。

この度、この10年を振り返るとともに、これからの環境変化に対応すべく、MTJAPAN中期ビジョンを取りまとめました。このビジョンには、5年後を見据えたMTJAPANのあるべき姿、ありたい姿をお示ししています。今後は、本ビジョンをベースに具体的な活動を推進して参りますので、関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

一般社団法人 日本医療機器テクノロジー協会
会長 高木俊明

私たちは、常に変化を先取りし、 イノベティブ & サステイナブルな医療の実現を通じて 社会に貢献し続けます

- 医療者のみならず、国民からも信頼され、期待される医療機器産業の実現をめざします
- 成長産業としての期待に応えていきます
- 業界のリーディング団体として貢献し続けます

ビジョンへ込める思い

私たち MTJAPAN ならびに会員企業は、社会環境や地球環境の変化、疾病構造やテクノロジーの変化など、さまざまな変化の渦に身を置いています。それら変化の渦は、かつて経験したことのないスピードで規模が拡大しています。これら変化の予兆を見逃すことは組織や企業にとって致命的となりかねない予測不能な時代を迎えています。

そこで私たちは、変化の後追いではなく、常に変化を先取りし、時には自ら変化を牽引することで、医療現場に革新的（イノベティブ）なソリューションを提供していきます。この革新性には、単に高スペックの追求のみではなく、医療者や患者さんへの優しさや使いやすさ、効率性にも配慮した、社会課題の解決策となり得るものを想定しています。

また私たちが提供するソリューションは常に安全・安心で、持続可能（サステイナブル）であることが求められます。どのようなことがあっても医療を止める訳にはいきません。製品の安定供給の確保はもとより、安全にご使用いただくための情報やトレーニング等の提供もサステイナブルであることが必要です。もちろん、地球環境への配慮も欠かすことはできません。

このような思いを込めて、私たちは、イノベティブ & サステイナブルな医療の実現を通じて社会に貢献し続けて参ります。

■ 医療者のみならず、国民からも信頼され、期待される医療機器産業の実現をめざします

- ・ 社会課題・医療課題の解決に貢献する医療機器・医療テクノロジーを創出するとともに、医療者のみならず患者さん、国民の皆さんに正しい理解と選択肢が提供できるよう積極的な情報発信に努めます。
- ・ 医療機器の安定供給によりサステナブルで安心・安全な医療の実現に貢献します。
- ・ 地球環境に配慮した製品・サービスの開発・提供に取り組みます。

- 私たちは、さまざまな社会課題や医療課題を解決するソリューション創出にこれからも取り組んで参ります。私たちが開発・生産した様々な製品・サービスについて、医療者や患者さんを含む国民の皆さんへ正しく理解頂くことが、安全・安心な医療につながるのと同時に、診療選択の助けにもなります。そのためには私たちからの積極的な情報発信は大切です。
- 私たちの製品・サービスはひとたび供給が滞ると、医療全体が止まってしまうリスクをはらんでいます。安定供給の維持に向けたサプライチェーンの見直しや強化は引き続き重要な課題です。
- 当然、地球環境への配慮も忘れてはなりません。医療の世界でも、製品開発だけでなく生産や流通など、全てのサプライチェーンにおいて環境への配慮が求められています。

■ 成長産業としての期待に応えていきます

- ・ 多様化する社会環境や技術の変化を迅速にとらえ、イノベーションによるグローバルな市場創造に取り組みます。
- ・ 国や地域、業界を問わず交流を促進し、新たなビジネス機会につなげます。

- かつて医療の主役は薬であり、医療機器そのものに光が当たることは稀でした。しかし、多くの革新的な医療機器の登場は、医療に変革をもたらし、医療機器が国の成長産業として期待されるまでに至りました。さらに COVID-19 のパンデミックにより、医療機器の存在価値が広く国民に知れ渡ることとなりました。現在は、国内市場の低成長もあり、グローバルでの成長が期待されています。
- 新たなビジネス機会の創造には、新しい国や地域への展開や、これまで接点のなかった異分野・異業種とのコラボレーションや産官学との連携も積極的に行っていく必要があります。

■ 業界のリーディング団体として貢献し続けます

- ・ 世界の医療の質向上と医療機器産業の持続的な発展に貢献できるよう、組織力の強化・活性化に取り組みます。
- ・ 高い使命感のもとガバナンスを強化し、コンプライアンスの徹底に取り組みます。

- 今や MTJAPAN 加盟企業は 300 社を超え、MTJAPAN 関連製品の売上規模は 2 兆円近くにまで拡大しています。数ある医療機器業界団体のなかで、存在感の高まりとともに、活動への期待も大きくなっています。より組織としての一体感を醸成するとともに、政策提言など発言力・発信力を強化することで、医療機器業界の牽引役として産業の発展に貢献していきたいと思えます。そのためには会員企業に向けた人財育成の取り組みと、部会・委員会を含めた活動のさらなる活性化が鍵となります。
- 責任ある業界団体として、高い使命感を忘れることなく、ガバナンスの強化によりコンプライアンスを徹底することは言うまでもありません。



MTJAPAN

(一社)日本医療機器テクノロジー協会 (MTJAPAN)

〒102-0083 東京都千代田区麹町3丁目10番3号 神浦麹町ビル3階
TEL.03-5212-3721 FAX.03-5212-3724 E-mail/info@mtjapan.or.jp

www.mtjapan.or.jp